

### 在宅療養者への減災対策の充実を



文教福祉委員  
**雪田 きよみ**  
電話 983-7140

3・11では在宅介護事業者は停電・渋滞・電話不通の中、在宅療養者の安否確認に奔走しました。在宅介護事業では一人の療養者に複数の事業所が関わりますが、災害時の体制が構築されていらないため不合理な動きとなりました。在宅介護事業所と防災協定を結ぶ必要があると思います。健康福祉部長は、今後

介護事業所との連携について検討していくと答弁しました。3・11では原発事故の影響で、当初大規模停電が懸念されました。医療依存度の高い在宅療養者は電気医療機器を利用して生活しています。その生命をどう守るか多くの訪問看護師が奔走しましたが、災害時支援体制の希薄さが露呈しました。災害時の体制作りが必要です。

健康福祉部長は特性に配慮した支援体制の構築が重要であり、医師会とも連携して検討していくと答えました。

### 早世(65歳未満の死亡)の減少対策を

吉川市の早世割合は、男女共に全国トップクラスです。原因疾患はがん・心疾患・自殺です。

生活習慣病の多さは長距離通勤との関連も考えられます。コンビニ等と連携し、深夜の食生活改善に向けた取り組みが重要です。自殺は、本人が病気で重要ことに気付いたための環境が重要と考えます。がんは、10代の乳がんの発症例も報告されており、中学校教育での自己検診の啓発も重要です。

健康福祉部長は、生活習慣病対策では自己管理が一番重要、自殺については若い世代が多く今後対策が必要というものでした。乳がんの10代への教育については、「保健体育の疾病予防で取り上げているのではな



文教福祉委員  
**遠藤 義法**  
電話 981-0704

### 中川の治水対策は万全か

集中豪雨時の対策として護岸工事がすすんでいます。中川の左岸、市役所付近や吉川橋付近、駅南の工事計画と完成の見通しについて質問。

都市建設部長は、吉川橋付近の護岸工事は吉川橋架け替えに合わせ完成し、市役所付近、駅南側などについては緊急性の高い方から随時工事が行われると国の計画を答弁。堤防の高さについては、市役

### 学校図書室の充実を

所付近で現在4・57mあり、計画水位は3mなので現状でも上回っており、さらに0.6m高くなる計画と述べました。

学校の図書整備、新聞の配備、司書の配置に必要な経費が地方交付税措置されていることから、市の実施状況と司書の専任配置を求めました。

教育部長は、平成28年度政府から予算措置された小中学校図書関係費は815万6千円で、支出したのが871万6千円。司書関係費は506万3千円予算措置されたが、司書4人分327万9千円が使われたとの答弁でした。国の予算配分から司書配置は十分可能であることから、



増員を求めたのに対して部長は、今後財政担当と協議して対応したいと答えました。

### 国民健康保険の広域化に伴う施策は

来年度から国民健康保険が都道府県化されることから、国保税額などの見直しについて問いました。

健康福祉部長は、今回県が出した方針は、保険税などのあり方を定めたものであり、県への納付金や国保税などの詳細は来年3月までに決まると述べました。



総務水道委員  
**佐藤 清治**  
電話 981-3854

### 仮称第4中学校の通学区と施設概要は

吉川駅南口の地区は仮称第4中学校の通学区とするよう求められました。12月22日の教育委員会で特例で受け入れることが決まったが周知はどうするか。

また、中学校の施設概要についてもただしました。教育部長は、関係地区へチラシ配布をおこない、現在は市のホームページで常時掲載をしていると答弁。施設の概要は、将来必要となる教室は最大で普通教室27、特別支援学級2教室、あわせて29教室と答えました。



けやき通り丸和運輸地先の交差点を県道バイパスに向かう市

道は振動がひどいとの声がよせられており、早急な対策を求めました。都市建設部長は、舗装の傷みが広範囲にわたっていることから、路線全体のアスファルト舗装を厚くするなどの工事が必要ですが、まずは応急的な補修工事を発注するための準備をしていると答弁。佐藤議員は、路線全体の工事をいつまでに実施するのかただしました。

ご意見・ご要望等  
お気軽にお寄せください

日本共産党吉川市議団  
事務所 電話 981-5160

ホームページ: 日本共産党吉川市議団  
e-mail: jcp\_yoshikawa@ybb.ne.jp

佐藤 清治 電話 981-3854  
遠藤 義法 電話 981-0704  
小林 昭子 電話 981-7027  
雪田きよみ 電話 983-7140



建設生活委員  
**小林 昭子**  
電話 981-7027

### 公立保育所・非常勤保育士の処遇改善と正規化を

正規保育士との賃金格差が1か月17万円以上あるのは問題。県内の時給や一時金・退職金制度の有無等と比べても正は必要です。公立保育所の役割は大きく、正規職員を増やす事は喫

緊の課題です。公立保育所増設で抜本解決を図る自治体も出てきています。自治体が率先して待機児童解消に取り組むために、外部委託や民間依存ではなく、公立保育所を維持・拡充する事が必要と質問しました。健康福祉部長は、新年度から時給を4%アップし千円と予算化した。今後の保育所運営は基本的に民間にと考えているので正規化はしないと答弁しました。

### 工場排水による汚水問題

川端地内の用排水路「新きぼり」の水質問題を12月議会に続き質問。1月の水質検査結果は水質汚濁度を示すB、D数値が千七百と県基準の10倍以上でした。これでは汚水流入を防ぐ為

三輪野江地区の白地の一部農地編入への日程を質問。政策室長は、平成29年度中の完了を目指している。1月下旬から地権者へ説明を始めていくと答弁しました。